

3. 「学びの山梨モデル」の進捗状況

事業の共通目標	進捗状況 (外部評価結果)
① 連携開設科目 を活用した教養教育課程の充実と効率化	3
②教養教育課程における STEAM教育 の全学的な推進	2
③地域リーダーおよび産業中核人材としてのスキルセットに関わる実践知 教育プログラム の実施	2
④ リカレント教育 の推進と共助型の学修コミュニティの構築	3
⑤課題意識・目的意識の高い入学者の確保に向けた 高大接続 の確立	3
⑥地域人材養成センターの一体的運営による 垂直統合型人材 支援体制の整備	4

R5年度までの評価

外部評価基準

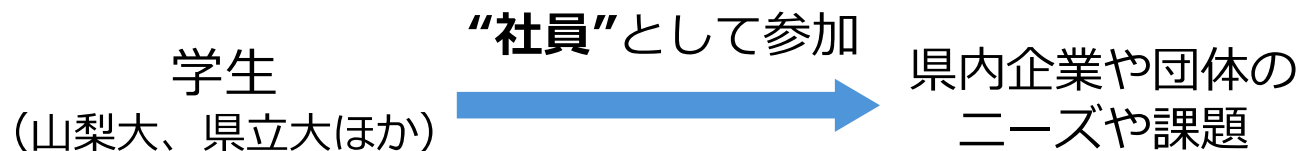
- 4 : 計画を上回って実施している
- 3 : 計画を十分に実施している
- 2 : 計画を十分には実施していない
- 1 : 計画を実施していない

4. 「学びの山梨モデル」における垂直統合型人材養成の現状について ～「フューチャーEVO」のご紹介～

フューチャーサーチ（Miraiプロジェクト）

フューチャーサーチ：山梨大学が開設するPBL科目で、県内8大学・短期大学の学生が「単位互換」という制度を用いて履修できる（通年実施；2単位）

山梨大学・山梨県立大学・山梨学院大学・山梨英和大学・身延山大学・大月短期大学・
山梨学院短期大学・帝京学園短期大学



Miraiプロジェクトの例（R6年度）

PROJECT 007

It's up to the
山梨 に行こう!
YAMANASHI

NO7：山梨県専門ユーチューブチャンネル 山梨に行こう！

企業・団体名：CIH 株式会社
主な活動地：山梨県

PROJECT 016

和紙 で彩るクリスマス
Merry Christmas
甲州和紙 / EOSHU WASHI
ブランディング・商品開発・TPC企画・会場分析・SNS・自営店キャッチアップ・イベント企画・出店

NO16：甲州和紙ブランディングPR Vol.2 ～和紙の古き良きを新たにデザイン～

企業・団体名：富士川クラフトツーリズム
主な活動地：山梨県内、市川三郷町・身延町

PROJECT 030

木と鉄の可能性をカタチに
～こんなあったらいいよね
商品開発～

NO30：木と鉄の可能性をカタチに ～こんなあったらいいよね商品開発～

企業・団体名：南アルプス市若手大工の会 株山十産業
主な活動地：南アルプス市

PROJECT 034

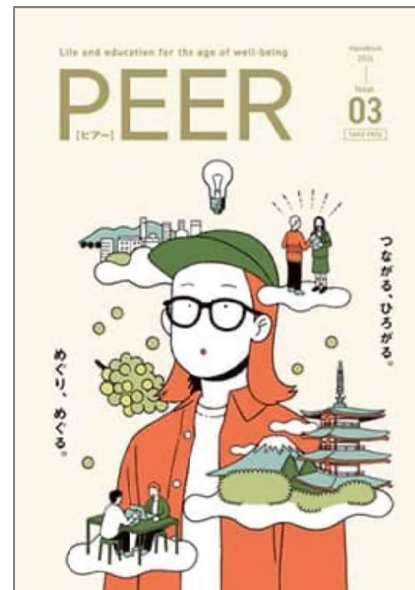
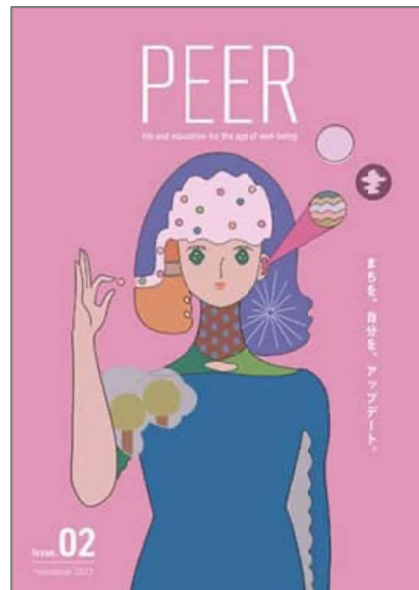
ガチャ
山梨ガチャガチャを作ろう
甲府商工会議所

NO34：山梨の魅力を発信するご当地ガチャ（カプセルトイ）の企画・製作

企業・団体名：甲府商工会議所
主な活動地：甲府市

4. 「学びの山梨モデル」における垂直統合型人材養成の現状について ～「フューチャーEVO」のご紹介～

フューチャーサーチ（Miraiプロジェクト）

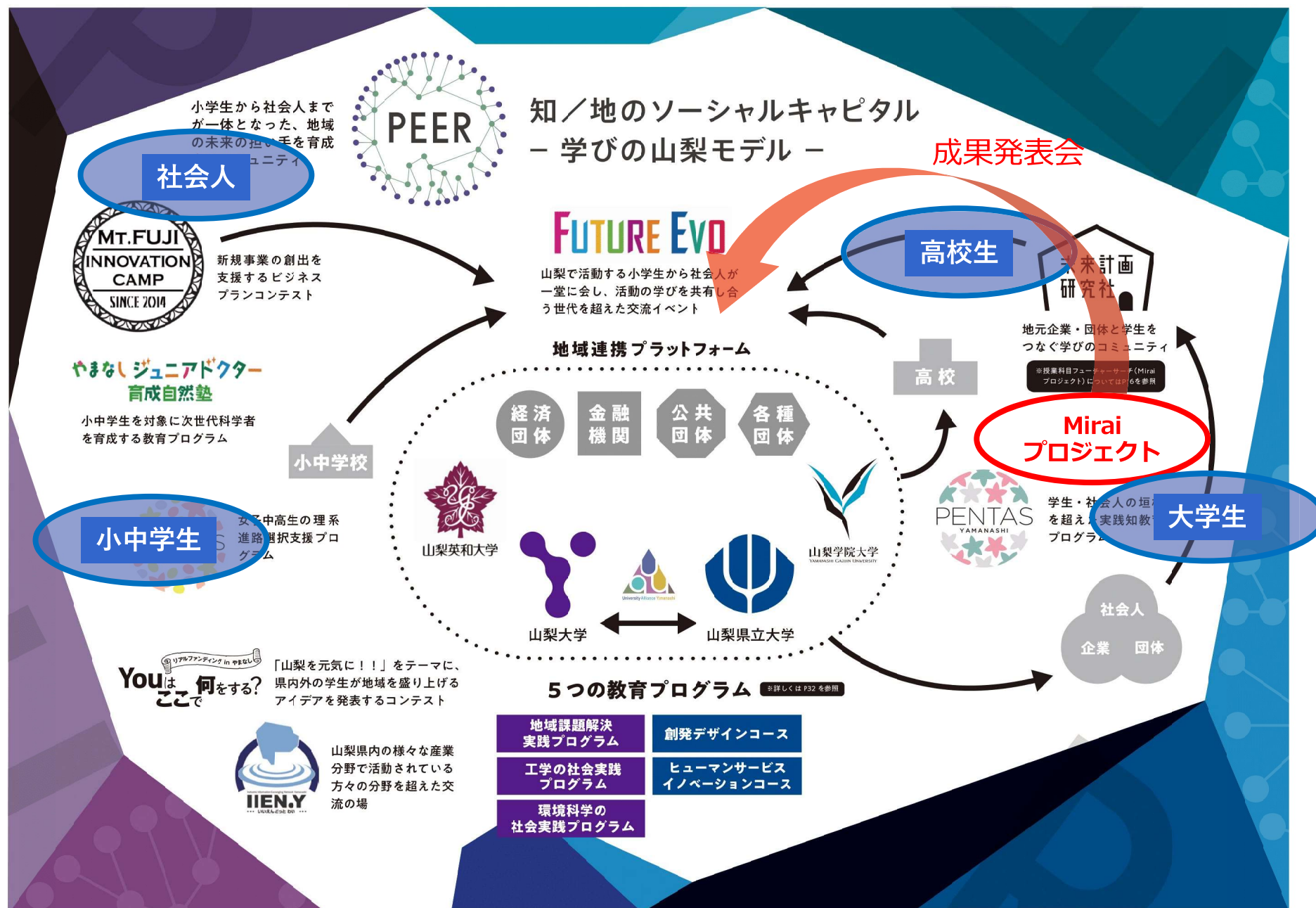


ハンドブック「PEER」にて過去の「Miraiプロジェクト」の
活動内容が紹介されています！

こちらからご覧いただけます→



4. 「学びの山梨モデル」における垂直統合型人材養成の現状について ～「フューチャーEVO」のご紹介～



4. 「学びの山梨モデル」における垂直統合型人材養成の現状について ～「フューチャーEVO」のご紹介～

フューチャーEVOとは？

「フューチャーサーチ」の成果発表の位置づけ

“地域活性化”に取り組む小中学生・高校生・大学生、山梨県を舞台に活躍する
社会人・起業家の発表会（今年度で3回目）

知(地)のソーシャルキャピタル
～学びの山梨モデル～ 構築事業
キックオフシンポジウム

FUTURE EVO 2023

人類学者と考える
共創・創発による
地域活性化

令和5年 2月7日 火

10:00～ キックオフ シンポジウム
14:20～ フューチャーEVO(発表会)

※キックオフシンポジウムは、ハイブリッド形式で開催。

会場 山日YBSホール(山梨県甲府市北口2丁目6-13) 入退場自由
山梨県立図書館 イベントスペース(山梨県甲府市北口2丁目6-1)

参加費 無料

申込 QRコード、URLよりお申し込みください。
<https://miraken.yamanashi.jp/news/4723/>
申込期限: 令和5年2月3日(金)

主催: 山梨大学、山梨県立大学
共催: 山梨日日新聞社・山梨放送、一般社団法人Mt.Fujiイノベーションエンジン
後援: 山梨県、甲府市

お問い合わせ
山梨大学地域人材養成センター(未来計画研究社) 山梨県甲府市武田4-4-37
Tel: 055-220-8450
e-mail: info@miraken.yamanashi.jp
HP: <https://miraken.yamanashi.jp/>

発表件数: 54件
参加者数: 306人

ごちゃまぜから生まれる地域の未来

フューチャーEVO
～ 解決 VS 熟考 ～

“地域活性化”に取り組む
中学生・高校生・大学生や、
山梨県を舞台に活躍する
社会人・起業家の発表会を
開催します。
あなたもぜひ世代を超えた
交流に参加してみませんか？

途中参加OK 入退場自由

2024 2.8 THU
16:30▶START
山梨県立図書館(甲府駅徒歩2分)

参加費 無料

内容
・1分プレゼン
・ポスターセッション

※発表料で参加の場合は費料の提出が必要です。

お問合せ: 山梨大学地域人材養成センター
☎: 055-220-8624
✉: sparc-as@yamanashi.ac.jp

主催: 山梨大学、山梨県立大学
共催: 一般社団法人Mt.Fujiイノベーションエンジン
後援: 山梨県、甲府市

参加 申込 >>

発表件数: 58件
参加者数: 352人

小中学生・高校生・大学生・社会人の交流イベント

文明 vs テクノロジー

FUTURE EVO 2025

入退場自由
参加無料
2025 2.7 金
14:30～20:00
IN 山梨県立図書館

第1部 講演テーマ
テクノロジーの未来と地域性

藤井直敬氏は、社会脳や代替現実の研究に従事したのちにVR事業で起業。XRコンソーシアムやブレインタックコンソーシアムを立ち上げるなど、産官学が連携した研究開発のためのプラットフォームづくりにも貢献しています。現在熱海在住。東京と地方の往復を通して見えてきたテクノロジーの未来についてご講演いただきます。

講師 藤井 直敬 氏
デジタルハリウッド大学 卓越教授兼学長補佐
東北大学医学部、眼科医、同大大学院にて
博士課程修了。医学博士。90年よりMR研究
員。2005年より産学官連携研究推進センター
センターにて産学官連携研究チームリーダー。社
会学系職員の研究を行う。2014年に株式会社ハ
ッピネス創設。2018年よりデジタルハリウッド大学大
学教授。現実科学を主宰。

プログラム

14:30 第1部: 講演 ▶ 定員: 120名、先着順
テクノロジーの未来と地域性

15:30 第1部: パネルディスカッション
テクノロジーの未来、地域の未来

16:30 第2部: 活動発表会
小中学生～社会人の活動発表

・1分プレゼンテーション
・ポスターセッション ※詳細は裏面へ

パネリスト 「パネルディスカッションテーマ
『テクノロジーの未来、地域の未来』」

藤井 直敬 氏 デジタルハリウッド大学 卓越教授兼学長補佐
水上 寛 株式会社Dehito 代表取締役
杉山 歩 山梨大学 地域人材養成センター 特任教授

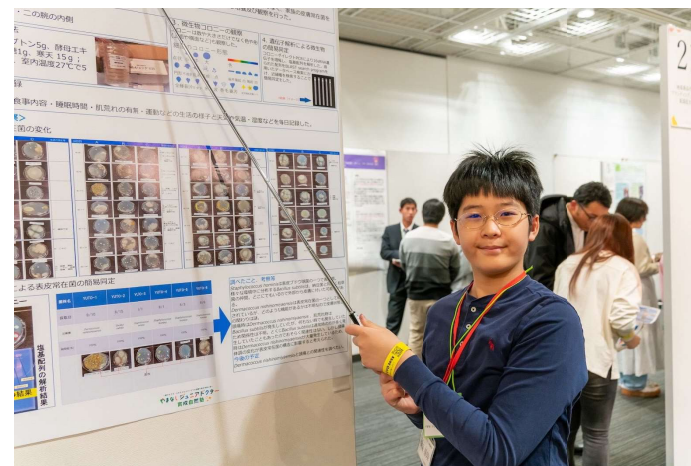
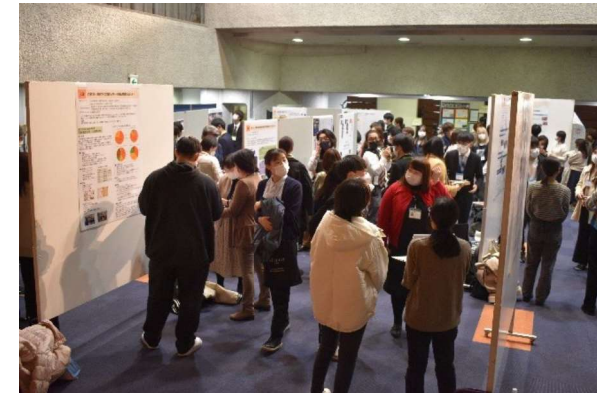
お申込み
お問合せ ☎ 055-220-8624

購買を希望される方は右側QRコードからお申込みください(2月3日(月)まで)

【主催】 山梨大学地域人材養成センター・山梨県立大学地域人材養成センター
【共催】 一般社団法人Mt.Fujiイノベーションエンジン
【後援】 山梨県、甲府市

発表件数: 71件
参加者数: 369人

4. 「学びの山梨モデル」における垂直統合型人材養成の現状について ～「フューチャーEVO」のご紹介～



今年度から賞を設定

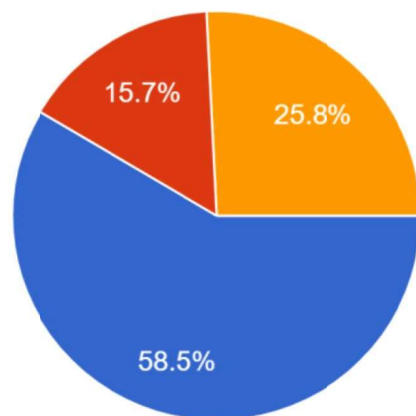
2024年度開催の様子
(動画) →



4. 「学びの山梨モデル」における垂直統合型人材養成の現状について ～「フューチャーEVO」のご紹介～

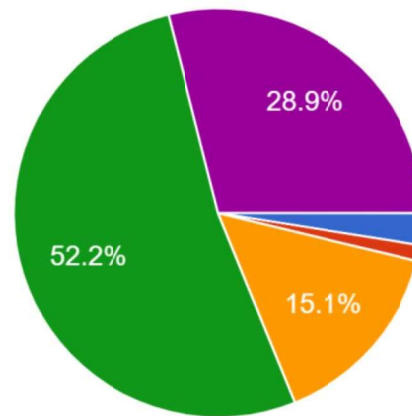
アンケート結果（R6年度実施分）

参加方法



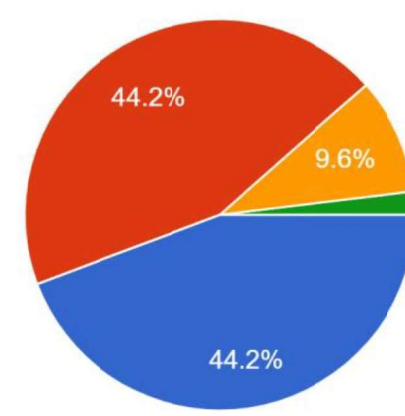
■ : 発表者
■ : 観覧者
■ : Miraiプロジェクト参加企業・団体

参加者内訳



■ : 小学生 ■ : 中学生 ■ : 高校生 ■ : 大学生
■ : 社会人

満足度（講演会のみ）



■ : 大変満足 ■ : 不満
■ : 満足 ■ : 大変不満
■ : 普通

自由記述（多くが肯定的な意見）

- ・多くの若者と情報交換する機会があり充実した時間でした。
- ・こういう経験は初めてだった。勉強もできて楽しかったです。
- ・今回初めて観覧しました。どのポスターもとても独創的で面白かったです。
- ・より大きい会場だと、じっくりポスターセッションも観ることができるかなと思います。
- ・色々回りたいところもあったが、時間が足りなかった。

5. 「学びの山梨モデル」における今後の課題

事業の共通目標	進捗状況 (外部評価結果)
① 連携開設科目 を活用した教養教育課程の充実と効率化	3
② 教養教育課程におけるSTEAM教育の全学的な推進	2
③ 地域リーダーおよび産業中核人材としてのスキルセットに関わる実践知教育プログラムの実施	2
④ リカレント教育 の推進と共助型の学修コミュニティの構築	3
⑤課題意識・目的意識の高い入学者の確保に向けた 高大接続 の確立	3
⑥地域人材養成センターの一体的運営による 垂直統合型人材 支援体制の整備	4

R5年度までの評価

4：計画を上回って実施している
 3：計画を十分に実施している
 2：計画を十分には実施していない
 1：計画を実施していない

5. 「学びの山梨モデル」における今後の課題

②教養教育課程におけるSTEAM教育の全学的な推進

R5年度計画

【山梨大学】

- ・SDGsと関連する全学共通教育科目50%開設実施案の確認及び確定をする。

【山梨県立大学】

- ・教学マネジメントの観点から大学の既存科目の効率化を検討し、ロードマップを作成する。



いずれも検討段階にとどまる



全学共通教育科目の改革中（山梨大；R6年度）



R7年度以降に問題解消見込み

5. 「学びの山梨モデル」における今後の課題

③地域リーダーおよび産業中核人材としてのスキルセットに関わる 実践知教育プログラムの実施

R5年度計画

【山梨大学】

- ・各教育プログラムの評価ツール（案）の確認及び確定をする。
- ・学生自身の学修目的到達度等アンケート（案）の内容確認及び確定をする。
- ・学生自ら分野横断的・融合的な課題を設定する授業科目整備（案）の確認及び確定をする。

【山梨県立大学】

- ・教育プログラムの制度設計、協力関係機関等との調整を行う。
- ・実習室の設備物品等を整備する。

いずれも検討段階にとどまる

プログラムの開始（R7年度から）にあわせて問題解消見込み